

# 鹿沼の木工

Woodwork of KANUMA

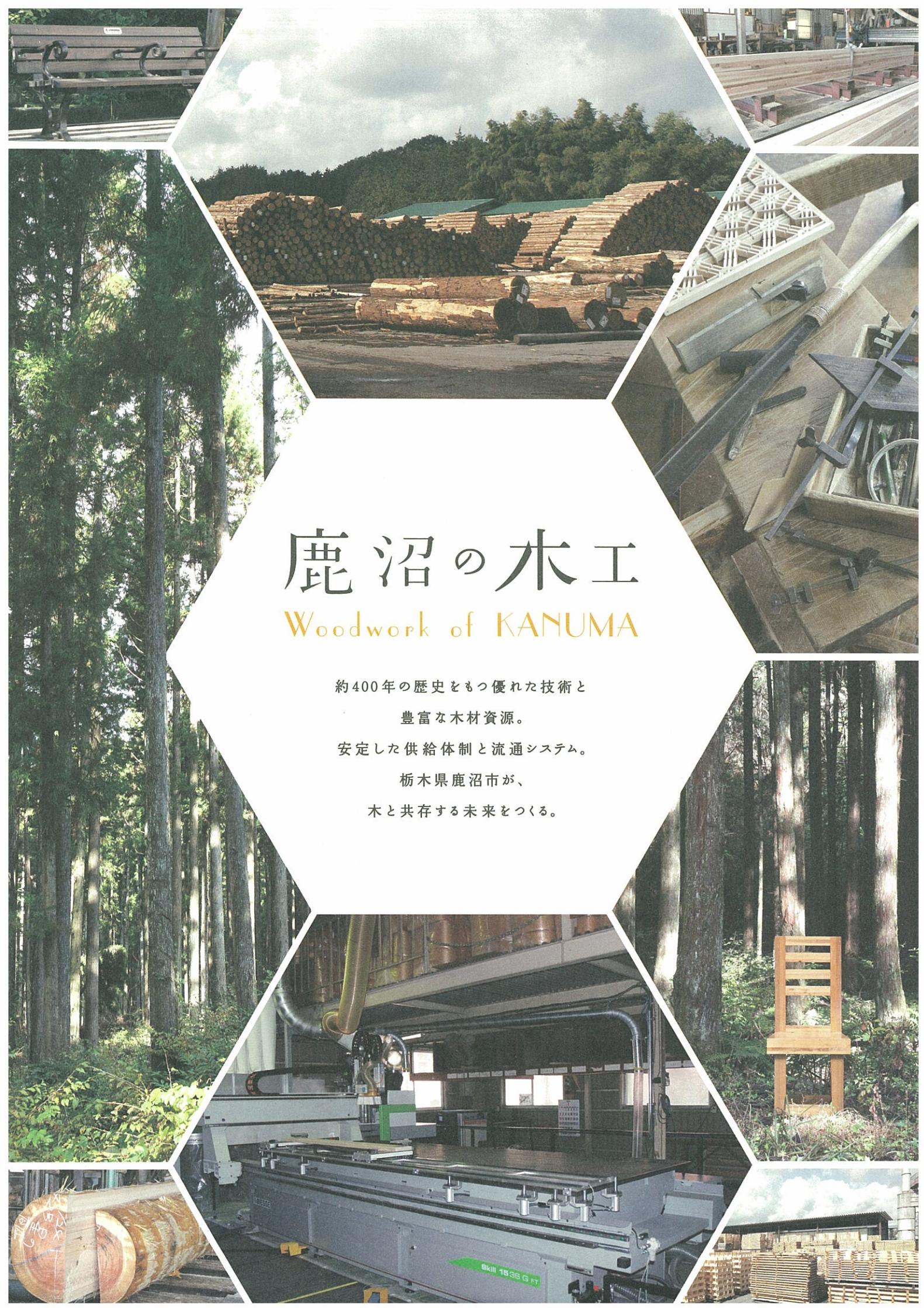
約400年の歴史をもつ優れた技術と

豊富な木材資源。

安定した供給体制と流通システム。

栃木県鹿沼市が、

木と共に存する未来をつくる。



## 鹿沼の木工について

関東の北部、栃木県中部に位置する鹿沼市。

良質な杉やヒノキなど木材資源に恵まれたこの土地の、

木工の歴史は約400年前にさかのぼります。

寛永13年(1636年)日光東照宮造営の折り、

各地から腕利きの宮大工や職人が集結。

日光からほど近く、木材集散地となる平坦な地をもつ鹿沼市に、

逗留・永住した彼らがその技術を伝承したのが起りとされています。

あらゆる装飾技法を駆使して造られた絢爛豪華な日光東照宮。

文政元年(1818年)の日光五重塔再建時に、

彫物大工の棟梁を務めた後藤周二正秀は、

天保7年(1836年)に仲町(現・鹿沼市仲町)の彫刻屋台を製作しました。

この頃は老中水野忠邦により天保の改革がなされた時期で、

祭りの際の踊りや芝居、華美はすべて禁止。

移動舞台としての機能をもった屋台は彫刻屋台となり、

町内で競い合うように壮麗な彫刻屋台を作るようになりました。

建具、組子、彫刻といった彫刻屋台に息づく職人の精巧な技。

それがいまの技術力の基盤となっているのです。

その後、関東大震災や戦災の復興で鹿沼建具は大きく飛躍。

時代のニーズにあわせ、産業は変遷をたどりながら、

鹿沼市は日本屈指の木工産地へと発展を遂げました。

豊富な木材、優れた製材業者、卓越した職人と現代的な機械設備、

木工に関するさまざまな専門業者を有し、

首都圏へのアクセスの良さをいかして構築させた流通体制。

あらゆる要望に対応し、しっかりと応えていく。

木と共に存する未来のために、鹿沼の木工はたゆみない歩みを続けます。



昭和33年の鹿沼市内。木工産業が栄え、街に活気に溢れていた



「鹿沼ぶっつけ秋祭り」にて彫刻屋台が勇壮に街を練り歩く

W  
o  
o  
d  
w  
o  
r  
k

f  
o  
r  
A  
N  
U  
M  
A

木工のことなら、どんなことでも  
“対応力”が自慢です

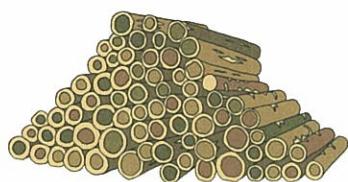
豊かな木材資源に恵まれた鹿沼市。歴史を経て培ってきた技術と、首都圏からほど近い土地だからこそなせる、要望に応じた対応力が強み。木工のことなら何でもご相談ください。

良質な杉・ヒノキと  
優れた製材技術

## 原木 Genboku

## 製材 Seizai

↓  
( P.4 )

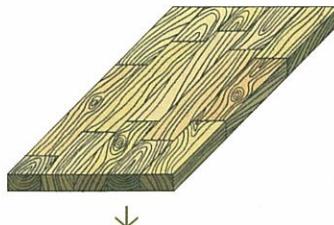


あらゆるニーズに応える  
空間づくりのお手伝い

## 造作家具 Zosakukagu

## 置き家具 Okikagu

↓  
( P.6 )



↓  
( P.4 )

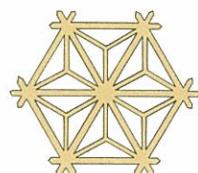
## 集成材 Syuseizai

強度性能が安定した  
さまざまな形状の部材を提供

空間に彩りを添える  
卓越した職人の技

## 組子 Kumiko

↓  
( P.5 )



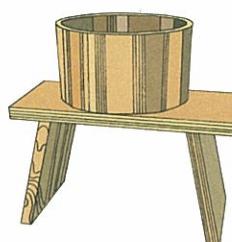
↓  
( P.5 )



## 建具 Tategū

和洋問わずシーンに  
合わせた建具を提案

↓  
( P.5 )



←  
( P.5 )

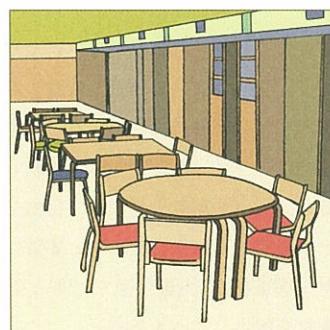
## 木製品 Mokuseihin

法人から個人まで  
木の温もりを暮らしの中に

木の優しさで包み込む  
住宅・店舗・公共施設

## 内装施工 Naisousekou

↓  
( P.7 )



# 原木 Genboku

>>> 豊富な杉・ヒノキと、優れた製材・加工技術

## 集成材 Seizai



（ Hinoki ）



（ Sugi ）

### 原木（杉・ヒノキ）

鹿沼地区で産出される杉は目がつまり、他県の杉と比べても強度が安定しています。林家が丁寧に森を手入れしているからこそ、ヒノキも同様、強度があり美しい木目が特徴です。



鹿沼木材共販所に積み重ねられた豊富な原木

### 製材

用途に応じ製材後の乾燥（天然乾燥・人工乾燥）を選択。木の特性をいかしながら、目的に合った乾燥を行います。また注文に応じて加工をするため、小ロットの部材も対応可能。



径1600mmの原木まで対応できる製材機も

**栃** 木県鹿沼市において森林が占める土地の割合は69%、うち民有林人工針葉樹率は73.2%にものぼり、杉とヒノキが圧倒的な割合を占めています。鹿沼地区の森林は高度経済成長期の植林活動により、齡級構成は9齢級（45年）～12齢級（60年）が約66%。ま

さにいま、杉やヒノキを活用する時期を迎えております。また鹿沼地区で育った杉やヒノキは、高い強度をもつ良材。住宅用部材（土台・柱・桁・梁・床材・壁材・内装材・造作材）、土木用部材、木工用部材など、幅広く使用されています。

## 集成材 Syuseizai

>>> 多品種、少量生産で良質な部材を提供

**集** 成材においても栃木県産の間伐材・中目材を採用する動きが推進されており、公共施設や学校などで幅広く利用されています。栃木県産材の集成材は強度が安定しているのが特徴。実際に取り入れた施設や建設業者をはじめ各方面から、高い評価を得ています。研究開発は年々進み、乾燥などの技術も向上。強度性能が安定し、狂いや割れの少ない、自由な形状やサイズの部材を供給することが可能です。要望に応じた多品種（造作材・構造材）、少量生産で、あらゆる用途に対応できる部材を提供していきます。



（上）幅広い用途で対応可能な部材を提供（左）鹿沼市内にある小学校の体育館でも、栃木県産材を使用した集成材が使用されている

# 組子 Kumiko

&gt;&gt;&gt;

匠の技が光る美しく繊細な表情

〈 代表的な模様 〉



麻の葉

〈 商品事例 〉



つい立て

## 柾

木県の伝統工芸品に指定されている鹿沼組子。手カンナで3~4mmほどに切り揃えた木片を組み、釘などを使用せずに模様を組み入れる木工技術です。模様の数は200~300種類以上にもなり、富士山や孔雀など多様な表現も可能。現在では和風建具のほか、インテリアや生活雑貨など、さまざまな用途に活用されています。



熟練した職人が丁寧に組子模様を組み入れていく

# 建具 Tategu

&gt;&gt;&gt;

シーンに合わせた和風・洋風・特注建具

〈 和風建具施工事例 〉



〈 洋風建具施工事例 〉



## 書

院障子や襖はもちろん、ガラス戸やマス格子戸、フラッシュドアなど、現代の生活様式に合った建具の製作を行っています。住宅、店舗、公共施設、医療福祉施設、オフィスなど、広がりを増す建具の導入事例。常に受注生産体制が整っているため、バリエーションに富んだ建具を製作することができます。1点ものや特注建具のオーダーにも素早く対応し、細かなディティールをもつデザインの建具まで相談が可能です。

# 木製品 Mokuseihin

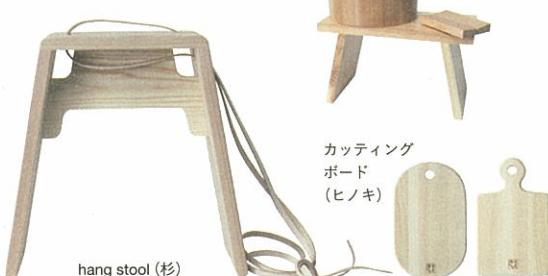
&gt;&gt;&gt;

木の質感が生活に温もりを添える

## 木

製品の製作に携わるようになった由縁は、桐の日本光下駄の産地であったという説と、桶屋が栄えていたという説があるといわれています。現在では、湯桶や風呂椅子などの浴室用品や、まな板やしゃもじといったキッチン用品の製作を中心に、さまざまな木製品を製作。加工精度の高いNCルーター・レーザー加工機など、最新の技術と機械設備を導入しながら、多様化する現代のニーズに合ったアイテムを提案しています。

〈 商品事例 〉

バスツール、  
湯桶、  
石けん置き(杉)カッティング  
ボード  
(ヒノキ)

# 造作家具 Zosakukagu

## 置き家具 Okikagu

技術力があつてこそなせる確かな仕上がり

**経験** 製に裏打ちされた建具の技術をもとにつくりだす  
造作家具や収納家具。仕上がりの美しさをみれば、  
その卓越した技術力は一目瞭然です。住宅、店舗、公共  
施設における造作家具・収納家具から、学校に設置する  
学童机と椅子、ロッカー、その他の置き家具まで幅広く  
対応。打ち合わせ、設計、予算に合わせたグレードの提  
案、施工までトータルでの相談に応じます。



キッズシェルフとキッズテーブル

〈 施行事例 〉



リビング収納



書斎

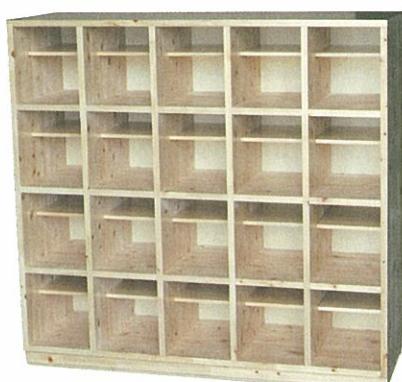
〈 商品事例 〉



学習机と椅子（ヒノキ）



マガジンラック（杉）



下駄箱（ヒノキ）

# 内装施工

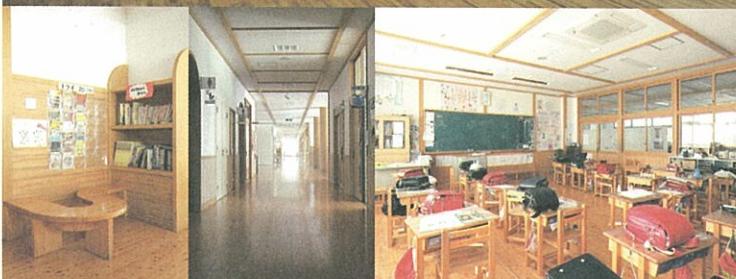
## Naisousekou

“木質”が生み出す優しく穏やかな空間

**鹿沼市** 沼市では、木材に対する親しみと理解を深める木育を推進しており、小学校の木造・木質化に積極的に取り組んでいます。家具、建具、内装材などに地元の杉やヒノキ、集成材を使用。木ならではの質感、香り、色などを幼少期に体感することで、よりよき環境を次世代に受け継いでいくことを目的としているのです。近年その動きはますます広がり、木質化を進める地元企業も多く出てきました。また2012年には「鹿沼市公共施設木造・木質化基本方針」を策定。公共施設の建設時にはできる限り鹿沼市産出材を利用し、木とともに繁栄を遂げてきた鹿沼市ならではの施設づくりを進めています。

これらの施工を行うのは、木を知り尽くし、高い技術をもつ熟練した職人たち。彼らの適材適所の木材選びは、施工時に発揮され、木の温もりと優しさを永きにわたり感じられる空間をつくり出します。学校、オフィス、病院、店舗、公共施設に木の安らぎを。木という素材が生み出す効果を取り入れた空間づくりを提唱していきます。

鹿沼市内小学校



校舎、体育館、教室内の学習机と椅子などに栃木県産の杉、ヒノキ、集成材を使用

▲ 施行事例  
▼

鹿沼市内銀行



栃木県産材を用いた窓口のカウンターや壁面。行員の執務スペースにも随所に県産材を採用

都内美術大学



空間を埋め尽くす本棚が壁の役割を果たしている、都内美術大学の図書館

# 木とともに 生きるまち、 鹿沼

棊や障子、欄間など、日本一の

建具の産地である栃木県鹿沼市。

約400年前より継承されてきた伝統的な

技術と豊かな木材資源、そして東京から約100km

圏内に位置する地の利をいかし、「木工のまち」として木工関連

産業を基盤に栄えてきました。江戸時代の職人の技の集大成で

あり、豪壮な装飾が施された彫刻屋台は、計38台（内14台が

市指定文化財）が現存。毎年10月に開催される「鹿沼ぶっつけ

秋祭り（国指定重要無形民族文化財）」にて市街地を練り歩き精彩を

放っています。また、鹿沼市はさつきの産地としても有名。毎年5月末から6月

初旬にかけて開かれる「鹿沼さつき祭り」には全国各地から愛好家が訪れます。

そばの作付面積及び生産量も県内第1位で、水と緑に恵まれた「そばの郷」としても脚光を

浴びているなど、多くの魅力に溢れた街となっています。戦災の復興、高度経済成長期、

バブル崩壊など、さまざまな好不況を乗り越えながら木工産業の発展を遂げてきた

鹿沼市。いつの時代も、これからの未来も、変わることなく木とともに生き、歩み続けます。



## ACCESS

### JR日光線 鹿沼駅

JR東京駅から約70分、JR仙台駅から約100分  
(東北新幹線利用宇都宮駅乗り換え)

### 東武日光線 新鹿沼駅

東武日光線浅草駅から約80分、JR新宿駅から約90分

### 東北自動車道 鹿沼インター

浦和I.Cから約60分、仙台宮城I.Cから約150分  
(鹿沼I.Cまで)

## 発行

### 木づかいネットワーク推進委員会

## 事務局

### 鹿沼商工会議所内

〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町287-16  
TEL.0289-65-1111 FAX.0289-65-1114  
<http://www.kanumacci.org>